

### 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	日本遺産「木曾路」を守り発信する事業
事業主体 (連絡先)	木曾広域連合 木曾郡木曾町日義4898-37
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業    ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ハード
総事業費	1,155,600円 (うち支援金: 645,000円)

#### 事業内容

平成28年度に木曾古木紹介パンフレット「木曾路古木を訪ねて」では、木曾の歴史の中で人々の暮らしの傍らにあり、今もなお私たちの前に立っている木々を紹介しています。木一本一本には長い歴史があり物語があるため、それを紹介する案内看板を現地に設置しました。

- ①木祖村「田ノ上のシダレザクラ」案内看板
- ②大桑村野尻の「なんじゃもんじゃの木」案内看板



【日本遺産ロゴマークを掲示したサイン】

平成28年4月25日に文化庁が発表した「日本遺産」に「木曾路はすべて山の中 ～山を守り 山に生きる～」のストーリーが認定されました。しかし、木曾を訪れる観光客や地域住民にも十分周知されていないため、木曾広域公共サインへ日本遺産ロゴマークを掲示し、日本遺産である「木曾路」の情報発信を行いました。

- ③木祖村境峠、木曾町開田高原長峰峠、南木曾町木地師の里、塩尻市国道19号桜沢・国道361号権兵衛峠の5箇所の圏域界サインにロゴマーク設置

#### 【目標・ねらい】

- ①木曾の古木の歴史・文化などを説明し、木曾路をより知ってもらおう。(②も同じ)
- ③ 日本遺産「木曾路」の発信

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① ②新たな地域資源として古木の案内看板を整備したことにより、新たな観光客等の誘客に期待が膨らんだ。
- ② 木曾郡外からの入口にある圏域界サインに日本遺産ロゴマークを掲示したことにより、通過する観光客等に日本遺産に認定された「木曾路」をPR出来た。

#### ※自己評価【 B 】

##### 【理由】

- ・古木案内看板は、木曾広域公共サインシステムに沿った景観に配慮した看板で、古木の説明が日本語と英語で表記した。
- ・木曾地域の入口に日本遺産に認定された「木曾路」をPRする日本遺産ロゴマークを掲示した。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成28年4月25日に日本遺産に認定された「木曾路はすべて山の中 ～山を守り 山に生きる～」のストーリーと、同年度に作成した木曾古木紹介パンフレット「木曾路 古木を訪ねて」を活用し、木曾路の観光資源の一つとして古木が新たな観光スポットとなることを目指し、観光施策と行うと共に、より一層の情報発信を行い木曾路への観光誘客を推進する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある